

事務事業名		国立公園地内整備事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業																															
政策体系	政策名	015 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目																															
	施策名	23 豊かな地域資源を活用した観光の振興					会計	款	項	目	事業																											
	基本事業名	011 観光客の誘致と観光宣伝の充実			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成21 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入		01	07	01	04	13																											
根拠法令																																						
所 属	部課名	商工観光部商工観光物産課																																				
	係 名	観光係	電話	27-3111																																		
			内線	114																																		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)					全体計画 (期間限定複数年度のみ)																																	
碓石海岸を訪れる観光客に園地内を快適に利用してもらえるよう駐車場を整備する事業。 (1) 用地を取得し既存駐車場を拡大 (1) 不整形な土地を整備し効率的な駐車スペースを確保 (2) 利用者の安全確保のため防護柵を設置					<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A) + (B)</td> <td>0</td> </tr> </table>					総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金			都道府県支出金			地方債			その他			一般財源		事業費計 (A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計 (B)	0	トータルコスト(A) + (B)		0
総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金																																			
			都道府県支出金																																			
			地方債																																			
			その他																																			
			一般財源																																			
	事業費計 (A)	0																																				
	人件費	正規職員従事人数																																				
延べ業務時間																																						
人件費計 (B)		0																																				
トータルコスト(A) + (B)		0																																				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア 駐車場整備工事進捗率	%
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
なし		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
碓石海岸を訪れる観光客		名称	単位
		カ 碓石海岸入込客数	千人
		キ	
		ク	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
碓石海岸を訪れやすい環境を作る		名称	単位
		サ 駐車場利用者からの苦情件数	件
		シ	
		ス	
結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
利便を図ることで多くの観光客に訪れてもらう			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)
投入量	事業費	単位						
		千円						
事業費	財源内訳	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円						21,943
	事業費計 (A)	千円	0	0	0	0	0	21,943
人件費	正規職員従事人数	人					2	2
	延べ業務時間	時間					40	80
	人件費計 (B)	千円	0	0	0	0	160	320
	トータルコスト(A) + (B)	千円	0	0	0	0	160	22,263
活動指標	ア	%					25	100
	イ							
	ウ							
対象指標	カ	千人					510	475
	キ							
	ク							
成果指標	サ	件					0	0
	シ							
	ス							

事務事業ID	1398	事務事業名	国立公園地内整備事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

碓石海岸を訪れる観光客の駐車場は大駐車場以外の場所にほとんどなく、利用者に不便が生じていたため、既存駐車場の整備拡大が必要となった。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

市内随一の観光地である碓石海岸を訪れる観光客は他の地域と比較しても多く、バスによる観光のほか家族による自家用車での旅行も多いため施設整備が必要とされてきている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

特になし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 駐車場整備を行い観光地としての受け入れ態勢を整えることにより、観光客の利便を図り誘客の増加につながる。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 整備を行うことで観光客が増加することになれば、地域の活性化とともに経済波及効果が期待できるので市が関与することが妥当。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 駐車場の整備を行うことは観光客の利便性を高めること、また対象は観光客であることから、意図は適切である。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 整備することによって効率的な駐車ができ、イベント等においても有効的な利用が可能となる。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 現状の駐車場では効率的な利用がされていないため、廃止や休止がされた場合、観光地としての受け入れ態勢に不備が生じる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない [理由] 継続的な事業でないため ☐ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 現状が不十分な状態であることから整備しているものであり、削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 無駄な業務は行っていない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 観光客を中心とした利用に供するため整備するものであり、公平・公正である。

事務事業ID	1398	事務事業名	国立公園地内整備事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	現在の駐車場は広さが十分でなくイベント開催時には私有地を借用して対応している状況である。 暮石海岸を訪れる観光客は通年であり、特にイベント開催時には多くの来客が見込まれることはこれまでの実績でも明らかであるので、利便性の一層の向上を図るためにも整備は必要。																						
有効性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
効率性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
公平性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																						
☒ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容)		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 22年度で整備終了。																								

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	商工観光物産課長
-------	----------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																					
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切 ☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切 ☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切 ☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切 ☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	事業の意図等を的確に把握しており、適切な評価となっている。													
目的妥当性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果																					
☒ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 21年度で整備終了。	左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
